

「CRAFT CAD DX V3」

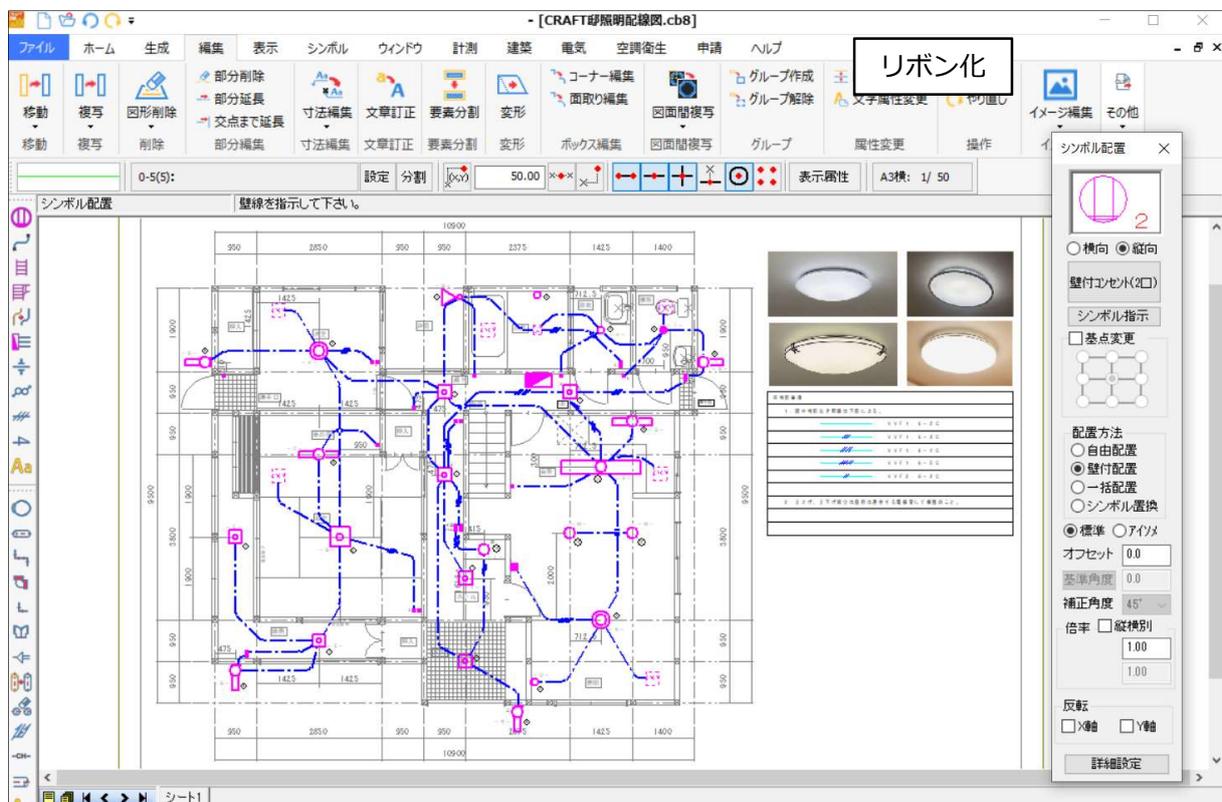
「CRAFT CAD DX V3」機能アップガイド

※本機能アップガイドの内容につきましては、2024年12月時点での対応予定項目です。
 下記記載の画面レイアウトや機能はリリース時に変更となることもございますので、
 あらかじめご了承ください。

I. 機能アップ項目

1. ユーザーインターフェースのリボン化

リボン化による各機能の可視化で、直観的なコマンド選択が可能となります。



2. Jw_cad, AutoCAD の最新バージョンに対応

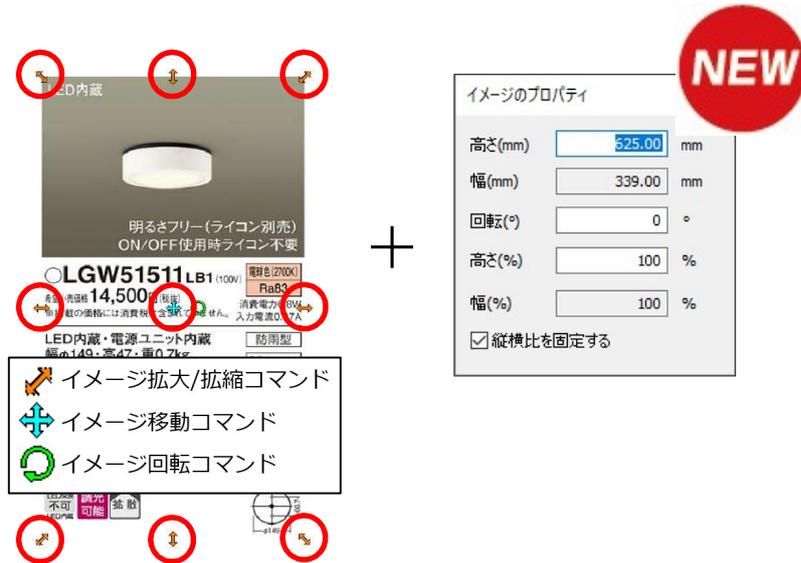
Jw_cad Ver.8.25a、AutoCAD2024 の入出力に対応します。

3. 画像データの編集機能を強化

「元に戻す」「やり直し」機能において、画像データも対象にします。

プラン図作成の際、貼付けた写真データの編集において、数値入力による拡張などに対応します。

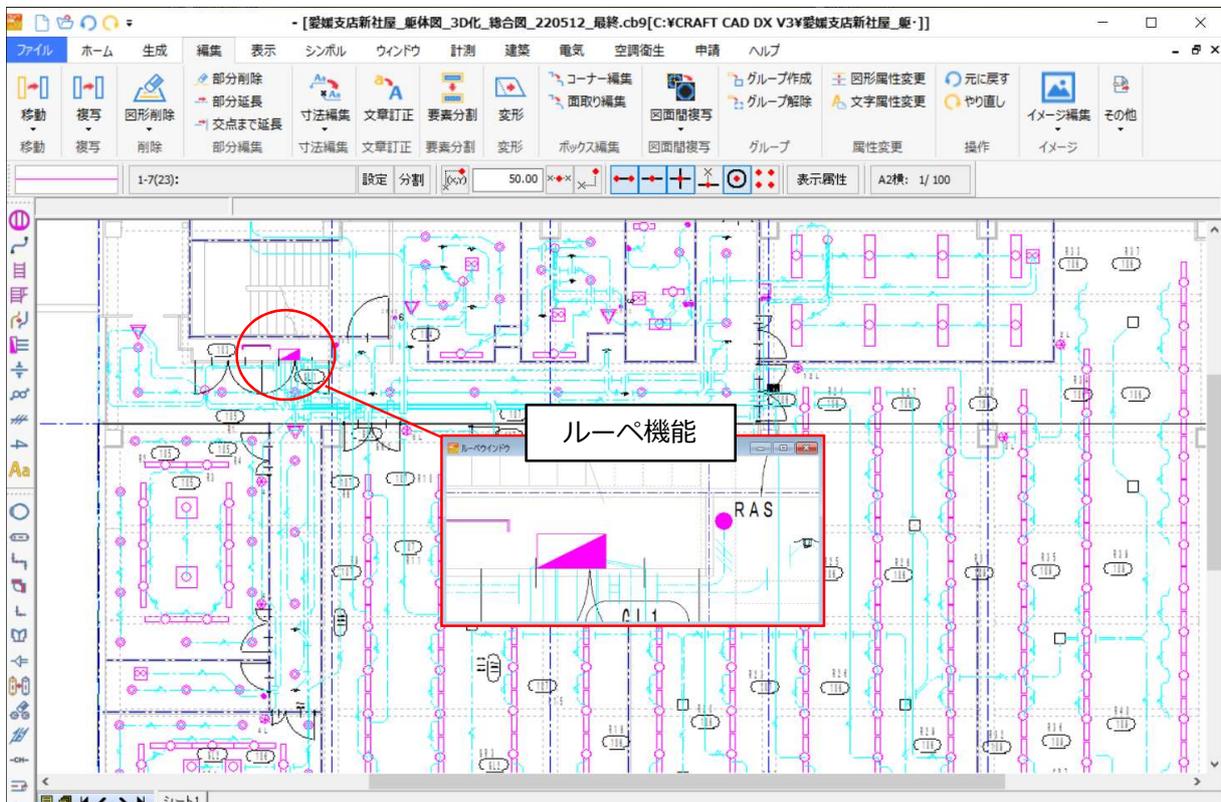
サイズ変更（高さ・幅・回転）において、数値入力を可能にすることで、質の高いプラン図が作成できます。



4. ルーベ機能に対応

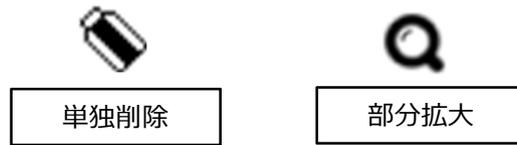
画面の一部分をルーベ機能で拡大して、ルーペウィンドウ内で基点の選択や作図が行えます。

また、キーボード操作で、ルーペウィンドウの開閉を可能にします。



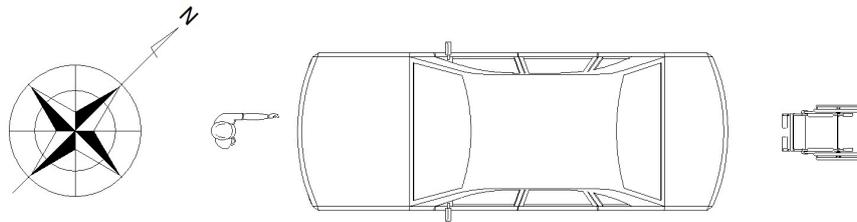
5. 単独削除・部分拡大コマンドのマウスカーソルアイコンを用意

単独削除・部分拡大のコマンド起動時、マウスカーソルアイコンを変更して視認性を高めます。
現在起動中の機能が一目で分かり、操作性が向上します。



6. シンボルの登録

方位記号、人、車、車いすなど、設備図に必要な部材を登録します。



7. Enter キーによる確定操作の対応

部材の作画や選択時、右クリックで確定していた操作を Enter キーでも行えるように対応しました。
これにより、連続線分や配線の作画や、平行移動・複写コマンドの選択確定を、キーボードからも操作できます。

8. Esc キーによる BackSpace キー操作の追加設定

動作環境設定から設定することにより、連続線分や配線などの作画時に、BackSpace キーで行っていた「1 つ前の動作に戻る」処理を Esc キーでも実行できるようにしました。

II. 対応OS

「CRAFT CAD DX V3」シリーズでは以下のOSに対応予定です。

- Windows11(64Bit)
- Windows10(64Bit)

上記以外のOSに「CRAFT CAD DX V3」シリーズはインストールできません。

※「CRAFT CAD DX V3」シリーズは 32Bit 版 OS 上では動作いたしません。

※「CRAFT CAD DX V3」は ARM 版 Windows では動作いたしません。

III. 動作環境

「CRAFT CAD DX V3」を実行するのに必要な動作環境は以下の通りです。

- CPU : Core i5 シリーズ以降の CPU
- メモリ : 8.0GB 以上
- HDD : 5.0GB 以上
- USB ポート : USB プロテクタ (ハードプロテクタ) 運用の場合必須